

キャラクター名  
仁礼 双葉(本名: 仁礼 三葉)

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ブラム=ストーカー		ワークス	ハッカー	カヴァー	引き籠もりの変人
	オプション		年齢	19	性別	女性
覚醒	生誕	衝動	破壊	初期侵食率	33	%
出自	姉妹	経験	記憶喪失	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	0	0			1	行動値	7
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	7
精神	2	1	0			3	戦闘移動	12
社会	3	0	0			3	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		1
回避			知覚			意志			調達		1
運転:			芸術:			知識:	2		情報:裏社会		1
運転:			芸術:			知識:			情報: Web		2
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 情報屋	
コネ: UGN幹部	
コネ: ハッカー	
応急手当キット(済)	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
シューラ・ヴァラ	P 執着	N 敵愾心		
テレーズ・ブルム	P 尽力	N 無関心		
姉: 仁礼 一葉	P 懐旧	N 不安		
記憶の中の誰か: 仁礼 双葉	P 好奇心	N 不快感		
九十七三	P 連帯感	N 脅威		
藤ノ木 凧	P 親近感	N 劣等感		
如月 トウマ	P 有為	N 疎外感		

最大財産P: 8    残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト: ブラム=ストーカー	2	浸食値: 2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C-2								
紅の刃	2	浸食値: 1	メジャー	視界	-	対決	-	
効果: [攻撃力: +[Lv+2]]の射撃攻撃力								
流血の孢子	2	浸食値: 2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果: 命中した場合、対象に邪毒Lv								
ブラッドコントロール	3	浸食値: 2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: ブラム=ストーカーのエフェクト判定D+Lv個								
盲目の羊	3	浸食値: 3	オート	至近	単体	自動	-	
効果: 判定を行う直前に使用、判定Dを-[Lv+1]								
始祖の血統	2	浸食値: 4	メジャー	-	-	-	100↑	
効果: エフェクトを組み合わせた判定ダイスを+[Lv×2]、メインプロセス終了時HP3点失う								
日常の代行者	1	-	常時	参照	参照	-	-	
効果: 戦闘の出来ない自分そっくりの従者がいる。								
細菌環境操作	1	-	メジャー	視界	シーン(選択)	-	-	
効果: 無菌室に似た環境を作り出している。GMが必要時、<RC>判定。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

仁礼 双葉: 仁礼三葉

仁礼双葉と仁礼三葉は双子である。  
二人は産まれた時からオーヴァードであり、それぞれが力を披露し、やがて奇異な目で見られることとなるが幼い頃はそんなことはどうでもよかった、兎に角自分の力が特別で綺麗だということを知って欲しかったのだ。  
そんな中、二人はとある事故に巻き込まれ双葉は三葉を庇い死亡している、が、双葉は三葉の意識の中に存在している。一命を取り留めた三葉は自分のことを双葉だと言い張るのは意識の中にいる双葉による執着や歪んだ愛ゆえのものである。最初は"三葉"と呼ぶ度、三葉の桃色の瞳は双葉が持っていた紅の瞳に色を変えその力を持って三葉を守ろうとしていた。そして三日後、三葉自身それが大きなストレスになったのかこれも双葉のせいなのか、"三葉"という名前を聞き取れなくなった。それから"三葉"を"双葉"と呼ぶしかなくなり、本人も自分のことを双葉だと思い込みどこでも"仁礼 双葉"と名乗っている。尚、三葉自身、事故のことはもちろん、双葉のことも記憶が朦朧である。双葉が双子の兄だと言われても納得しないしそれ以上に容赦のない頭痛が襲い来る。  
"三葉"と呼べるのは意識下にいる双葉しか呼べないし呼ぶものは問答無用で危害を加える一歩手前で牽制をしている。戦闘時、瞳が紅に染まるのは三葉の意識を双葉が強制的に入れ替えているからである。そのせいで前線にいた頃は常に記憶が朦朧で僅かな頭痛を伴い、意識下にいる双葉が強く出てくるせいで不快感と不安が募りに募り自ら前線から身を引いた。今では力を存分に使い引きこもってバックアップに徹している。暫く前線に出ていないお陰もあり双葉も安心していいのか今はあまり頻繁に出てくることはない。

crumble days  
経験点+15